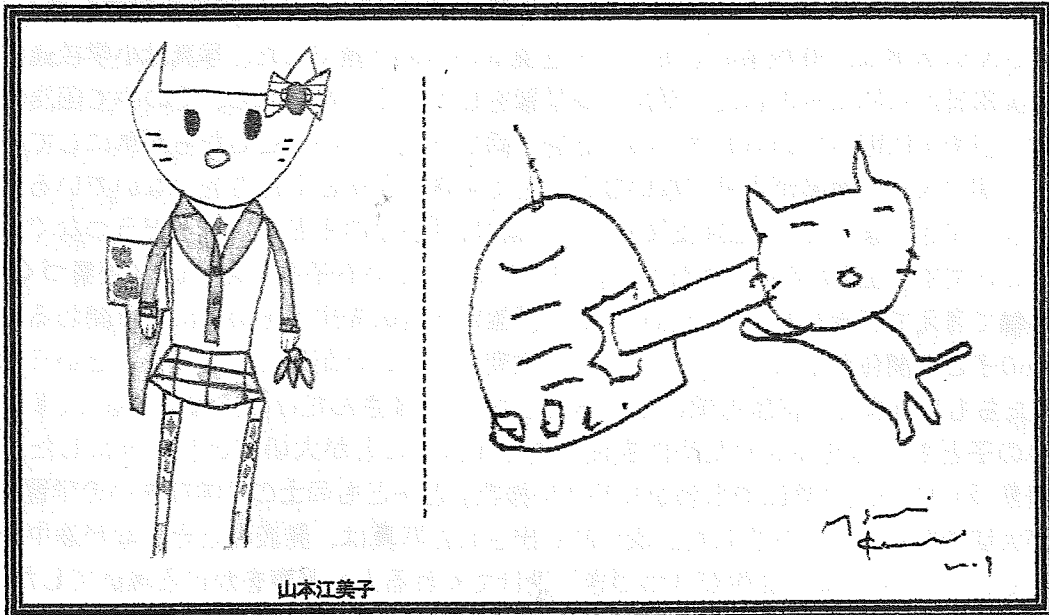


SSTK No.195

じゃなかしゃば



山本江美子

～ひなたぼっこ便利～

※今回の表紙のイラストは、山本江美子さんと、現代アーティストの門脇篤さんの作品です。

二人は、11月14日のきらゆめの前に「アート対決!」ということで、ネコをテーマに「じゃなかしゃば」の表紙の絵を描いてくれました。どちらの絵もすてきななので、両方とも掲載することにしました!

※誌名「じゃなかしゃば」は九州水俣地方の方言で「今のようでない世の中」という意味。
私たちは障害のある人もない人も共に生きる社会を目指して活動しています。

【編集】 NPO 法人ちば MD エコネット / 代表 山田晴子

〒273-0005 船橋市本町4-31-23 TEL/FAX 047-426-8825

Eメール: sun@mdeconet.jp

ホームページ: <http://mdeconet.jp/>

郵便振替口座: 00150-6-404243

口座名: NPO 法人ちば MD エコネット

ノーマライゼーション学校支援事業「フォーラム」のご報告

山田晴子

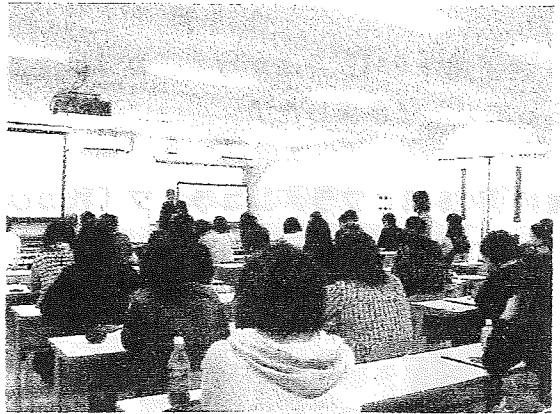
11月21日(土)、千葉大学西千葉キャンパスの教室で、学校支援事業の中間報告をかねたフォーラムを開催しました。連休初日とあってか、参加者は思ったより少なかったのが残念でした。参加された方々は、中間報告も佐藤暁さんの講演もとても熱心に聴いてくださいました。

中間報告では、ちばMDエコネットが千葉県とNPOとの協働事業を始めるまでの歩みをお話しました。また、ノーマライゼーション学校支援事業は県との協働のおかげで、学校に出向くケースワークが円滑に進んでいることを話し、取り組んできた事例を報告しました。

佐藤さんの講演は、50枚余の写真データを見ながらの講義でした。写真は小学校通常学級の授業風景から始まりました。グループ学習をしている子どもたち、その中で国語の課題に取り組めずに困っているMさんのことを、同じグループの子どもたちが気にしているようす、間に入った教師がさりげないひとことでMさんと子どもたちをつないでいるようすが、映し出されました。「個別支援」というより、「周りの子どもたちとどうつながるか」ということです。佐藤さんは「個別支援」だけでは困っている子を救えない、「授業づくり」との両輪で考えて行きましようと話しました。「個別支援の先生がその子にだけ関わることで、他の子との関係が切れてしまうという、大変悲しいことが起こってくる」というお話は、私たちもこれまでに何度も聞いていることでした。Mさんだけの支援ではなく、Mさんと周りの子どもたちをつなぐために支援の先生が入ることが大切だとわかりました。

「授業づくり」は、「誰にでもわかりやすい授業」と子ども同士の「学びあいの学習」の視点が大切であると言われました。次に映し出された写真は、発表のとき言葉が途中で途切れてしまったA君に、先生が「つづき、助けてくれる人」と声をかける場面でした。Bさんがすぐに手をあげて、A君がとぎれたところの続きを言ってくれたので、A君がその先を発言することができました。A君はBさんの助けで気づくことがあり、一方Bさんも、A君を助けることで新たに気づくことがありました。このように、自分自身の課題をつかむには仲間の力が必要であり、お互いに学びあうことを授業の中で練習するとよいというお話は、考えてみれば当たり前とも思われることです。また、「学びあい」は「聴きあい」でありむしろ受動性が基礎になること、相手の話を聴くことが成長の基礎になるというお話に、はっとさせられました。

「学びあいの授業やわかりやすい授業を実践しましょう。教職員がお互いの授業を見て学びあいましょう。そうすれば授業は確実に変わり、子どもは幸せになります」と佐藤さんは言われました。「子どもたちの幸せを」と何度も言われた言葉が、心に響いてきました。こうした授業づくりをしていくうちに、いつの日か「特別支援」から「特別」という言葉もとれていく時が来るでしょう、と佐藤さんは言われました。それは、仲間とのつながりと必要な支援がどの子にも当たり前にある学校であり、子どもたちが幸せになる学校です。佐藤さんの静かなお話の中から、そのイメージが力強く浮かび上がってくるように思われました。参加した一人のお母さんが「今まで何度も研修に参加しましたが、一番わかりやすいお話でした。たくさんの先生方に聞いていただきたかった」と話していました。



アンケートより（抜粋）

- ・「ノーマライゼーション学校支援事業」さんの活動状況を初めて知ることができました。今までは勤め先の学校でのチラシでしか名前を見たことがなかった存在が、すごく身近になり、参加して本当に良かったと思いました。佐藤暁さんの講演では、「気づき」が本当に多く、私自身の視点（新しいネタ）をたくさん質問する時間を設けてもらえて、自身の現状も重ね合わせることができ、少しずつ、実践していくことが出来そうです。質問させていただきありがとうございました。本を買わせていただきます。
- ・県の信頼性とNPOの当事者性が活かされている話を伺い、行政との協働の意義が分かりました。特に学校現場に入り込んでいくときに、県の信頼性が生きてくるとい話はなるほどと思いました。今後これがなくなっても、NPOの当事者性と信頼性がしっかり認められることを願っています。学校現場側の問題ですが…。これからもがんばってください。佐藤先生の話を知りたいとずっと思っていたので、今日参加できて本当に嬉しかったです。想像していた以上に、感銘を受けました。佐藤先生の考え方が広まっていくことを願ってやみません。これまで多くの専門家の話を聞いてきた中でも、違いを実感しました。もっと多くの方に聞いてほしい話でした。
- ・佐藤先生の講演は目から鱗が落ちるような話題でした。とかく個へ目が行きがちであったので、「仲間」という言葉は新鮮でした。
- ・初めて参加させていただきました。教師をしています。今までも困っている子をどう指導していくかという講演や書物を教育活動に活かしていきたいと思っても、とても無理な内容ばかりでした。でも、今まで自分がやっていることでいいのだと、佐藤先生の話聞いて自信を持つことができました。まわりと自分のやっていることが違ったり、強い指導をみると、私はダメだなんて思って、思った通りの指導ができなくて、私も子どもにとってもキツイことがよくありました。今日は本当に良い話を聞かせていただきました。ありがとうございました。私たち教師が声をあげてもなかなかつぶされてしまい、子どもを取り巻く環境はよくなりません。私たち教師の意識を変えてくれるこのようなフォーラムを行ってくださったり、保護者の声を管理職に聞かせたりしてくださると、私たちは後方支援ができます。よろしく願います。

☆11月、12月の〈ひなたぼっこ〉☆

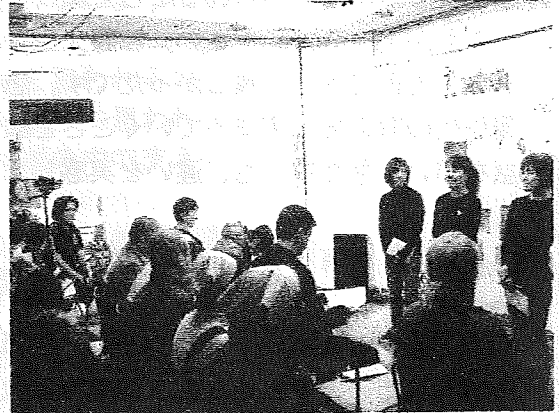
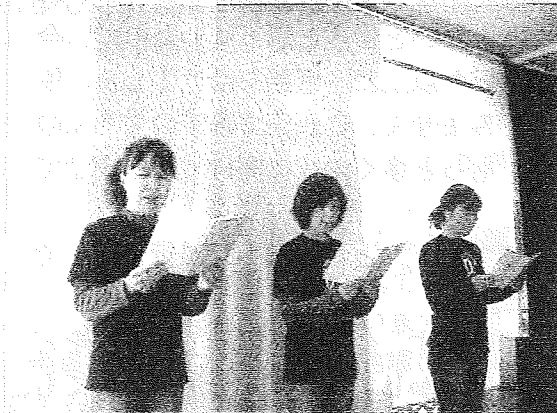
11月下旬から12月にかけて、カフェでは毎週末にイベント開催！たくさんの方にいらしていただきました♪

■11月28日 フラメンコライブ「秋のひだまりコンサート」



今年の5月に続いて、ちばMDエコネットの会員の小林洋美さんが、フラメンコの教室のメンバーと一緒にフラメンコライブを企画して下さいました。鈴木真澄先生、ギターの大藤大吾さん、唄の深澤良子さんにもご出演いただき、生演奏での踊りが次々と披露されました。ガラス張りのカフェでのライブは、外で通行人の方が何人も足を止めて見とれていました！来年も企画しますので、ぜひ見にいらして下さい♪

■12月6日 ピーストレイン第20回公演



ピーストレインのカフェでの公演は7回目になりました。内容が毎年変わっていくのがこの公演の特徴です。世界で起きている戦争のこと、核兵器使用、放射能汚染の影響についてなど…。公演を観ると、平和のありがたさ、命の大切さを改めて考えさせられます。毎年いらして下さいるファンの方も多いです。ピーストレインの皆さんは「来年も、もちろんカフェでやりますよ！それから日本全国で公演をしていきたいなあ。」と、パワーがあふれています。ピーストレインからのメッセージはブログに掲載されていますので、ぜひご覧下さい。

<http://blogs.yahoo.co.jp/marinika7th/MYBLOG/yblog.html>

【事務局長：よしみ】

「ひなたぼっこでの1日体験を終えて」

千葉県立野田中央高等学校教諭 酒井 文子

私は高校教員の初任者研修の一環として、ひなたぼっこで1日働かせていただきました。ひなたぼっこの存在を知ったのは、私の勤務している高校に山田晴子さんと晶生さんが講演会にいらしたのがきっかけです。講演会では学生時代のお話を聞かせていただきました。現在はひなたぼっこで働いていることを知り、どのように働いているのか興味を持ちました。私自身は、障害を持つ人と関わる機会がほとんどありませんでした。障害者について知ることは自分自身のためにも、また仕事上、高校に障害をもつ生徒が入学してきたときにも役立つと思い、ひなたぼっこでの体験研修を申し込みました。

ひなたぼっこに行くまでは、障害を持つ人とどのようにコミュニケーションをとればよいのか、どのように一緒に働けばよいのかとても不安でした。しかし、実際に行ってみると、みなさんにはやさしく受け入れていただきました。

開店前の準備では、何度も経験していることだとは思いますが、みなさん自分の役割をてきぱきとこなしていくので少し驚きました。私は勝手もよくわからず、見よう見まねでお手伝いをしていました。細かいことはスタッフの方が素早く指示を与え、できないときは丁寧に、できるまで手助けをしていました。できないことを全てこちらがやるのではなく、ゆっくりでも、何度やってもできるようにすることが大事なことだと感じました。

午前中はお客様が少なく、お昼を食べるために休憩をいただきました。そのとき、一緒に休憩に入った江美子さんとは、好きなアイドルの話などをしました。初めて朝会った時は、全然コミュニケーションをとることができなかったのに、休憩のときは一番おしゃべりをすることができました。自分が思っていたよりも、すごく普通の会話をしていることに気が付き、障害者という壁はだんだん感じられなくなっていました。

午後はお客様も増え、接客の仕事がありました。みなさんお客様が来るとすぐに注文を取りに行き、伝票に記入していきます。仕事が楽しいのだとすごく感じました。

障害者の方が働く場所は、作業所のようなところで、流れ作業のような仕事をするイメージが強かったのですが、コミュニティカフェは一般のお客様相手の仕事なので、普通のカフェと変わらない雰囲気、とてもいいと思いました。なにより、障害者の方が社会の一員として働いていることが身近に感じられる場所でした。このような場所がもっとたくさんあったら、私たちの意識も、より障害者に向くのではないのでしょうか。今回、たった1日ではありましたが、ひなたぼっこで働くことができるとてもよかったですと思っています。障害者にとって働くことに喜びや、やりがいを持つことは非常に大事だと思いました。

私は高校の教員をしています。勤務している高校には障害を持つ生徒は在籍しておりませんが、障害をもつ生徒が入学してきたら、ひなたぼっこでの経験したことを生かし、生徒が仕事につき、社会の一員として働いていけるような手伝いをしていきたいと思っています。

船橋の町並みの中に、しっかりと馴染んで暖かい日差しの中『コミュニティカフェ ひなたぼっこ』はありました。とても温かい優しい空気を感じ、『とてもいいお店だな・・・』と思いました。

一歩店内に踏み入ると、ゆっくりと時が流れ、スタッフの皆さんの穏やかな笑顔が私を自然と輪の中に引き入れてくれるような感じを受けました。

私は、病院での検査業務を20年、技術職に身を置いています。3年前、環境の変化で精神保健に関心を持ち、通信制大学で学び、精神保健福祉士の資格を取りました。大学で学ぶ中、障害者方々の社会での行きにくさ、就労の難しさを切実に感じていました。

大学での実習、ボランティア等で、精神障害者については学ぶことがありましたが、加えて知的障害者の方々の就労について少しでも理解できたらと思い、『コミュニティカフェ ひなたぼっこ』のセミナーに参加させていただきました。

このカフェでの日課は朝、店内外の掃除から始まり、買出し、店内のセッティング、接客、後片付け、キッチンなどを2名（夕方から交代で1名）の方と一緒に働かせていただきました。エプロンをかけ、身なりを整えてテーブルセッティング、シュガーとナプキンの数を数えて容器にいれ、テーブルに置く、椅子のクッションの向きを直して、一つ一つ丁寧に確認しながら・・・置いた位置がちよっと違うと直して歩くこだわり・・・そんなふうには朝の時間が流れて行きます。

スタッフルームには大きな紙に、挨拶から接客のしかたが事細かに書かれており、一人一人に出来るところを見極めて、支援を工夫されながら、現状に留まらず、ほんの少しでも進歩があるように、自尊心を傷つけないように支援をされているのが、とても印象的でした。

カフェには、ゆっくりとした方々（健常者と思われる方）が訪れ、障害者としてでなく、普通の市民として受け入れられているように思われました。また、地域の諸団体等にも利用されていて、地域に根ざし、地域の中で支えられているように見受けられました。

帰りに見せていただいた「ひなたぼっこ」では、地域の方々と共に精一杯生きている姿が、とても生き生きされていてとても感動しました。このような活動が世の中に広がっていけばと痛切に思います。

地域で困っている人を、地域の人々の力で支える・・・一言いうには大変なことです。障害を持つ人も、そうでない人も平等であるべきです。この世に生を受けた以上平等です。精一杯自分の人生を歩んで欲しいと思います。そのために、微力ながら力になればと思います。

お忙しい中、体験セミナーを快く引き受けてくださり、貴重な体験をさせていただいたこと、ありがとうございました。色々大変なことも多いかと思いますが、頑張ってください。応援しております。





今年1年、ありがとうございました



山田晴子

2009年がまもなく暮れていく時期となりました。NPO法人ちばMDエコネット設立からちょうど10年。応援してくださるみなさまの叱咤激励によって、ここまで来ることができました。心から感謝申し上げます。

共に学び共に育っていききたいという願いで小学校、中学校、そして高校まで普通に歩んできた若者たちは、30歳代に入っている人もいます（もう若者とも言えませんね！）。卒業後の社会参加としてグラウンドワークを行い、映画「ひなたぼっこ」をつくりコミュニティカフェ〈ひなたぼっこ〉を運営してきました。そして「ノーマライゼーション学校支援事業」で子どもたちの学校生活の課題に取り組み、学校現場、教育行政の方々と幅広く協力していくことができました。昨年度から、かねて課題だった新たな仕事への道を「しごと支援事業」という形でようやく模索し始めました。今年はこの事業によって、障害のある人の仕事への取り組みとして、少しずつつながりを創ることができてきました。本当に遅々とした歩みですが、障害のある人となない人が共に学び共に生きていききたいという願いを決してあきらめず、力を合わせて実現していきたいと思えます。

来る年2010年は、働き方と住まい方に向けて、今年活動を元にもう一歩飛躍していかなければならないと考えています。どうか来年も、ちばMDエコネットをご支援いただきますよう、お願いいたします。

協働オフィスからのご報告

カフェ〈ひなたぼっこ〉2階の協働オフィスに入ったださる団体や個人を、かねてから募集していました。このたび、2つの団体が事務所を置いてくださることになりましたので、ご報告させていただきます。「千葉肝臓友の会（TLG）」と、「NPO法人社会福祉士ネットワーク・ヒューマンレインボー」です。ちばMDエコネットも入って3つの団体が協力して、2階の協働オフィスを運営していきます。カフェの外に3団体の看板をかけ、ポストも入り口脇に3つ並びました。さびしかった2階が、おかげさまでにぎやかになりました。「NPO法人社会福祉士ネットワーク・ヒューマンレインボー」は福祉の現場で中心的な活動をしていらっしゃいますし、「千葉肝臓友の会」は医療と福祉に関わる当事者活動を展開していらっしゃいます。お互いによい情報交換ができるのではないかと、これからが楽しみです。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

告知板

■ちばMDエコネットからのお知らせ

◆馬込児童公園清掃 2010年1月9日(土)、23日(土) 10:00~11:00
問い合わせ:ちばMDエコネット 047-426-8825【担当:山田】

■ノーマライゼーション学校支援事業

2010年1月31日(日) 13:30~17:35 第6回、7回研修
会場:千葉市ビジネスセンター 会議室(きぼーる13階)
※詳細および申し込みについては、今回の会報の折込ページをご覧ください。

■おしゃべり会のお知らせ~2010年1月・2月

1月22日(金)、2月19日(金) 10:30~12:00
問い合わせ:<ひなたぼっこ> 047-426-8825【担当:山田】

■カフェ<ひなたぼっこ>から2010年1月イベントのお知らせ

- ☆ニットカフェ 1月16日(土)、2月6日(土)14:00~16:00
おしゃべりをしながら編み物をたのしみませんか?ご参加の際に何かご注文ください。
- ☆堀由貴さんの押し花教室 1月21日(木)14:00~16:00
カード作り。好みのカードを作ってみませんか。参加費1,000円(材料費、飲み物付き)
- ☆<ひなたぼっこ>バザー 2010年1月/2月はお休みいたします。次回は3月です。
毎回たくさんの皆様から寄贈品をいただき、ありがとうございます。
2009年12月12日のバザー売上は12700円でした。これからもよろしく願いいたします。
- ☆カフェ<ひなたぼっこ>年末年始休業日程のお知らせ
年末年始は12月25日(金)~2010年1月6日(水)までお休みいたします。
2010年1月は7日(木)より営業いたします。また、1月以降の定休日については、水曜日、日曜日(ただし、バザーやイベント開催の場合には日曜も営業)となります。
- ☆カフェの貸切でのご利用について
<ひなたぼっこ>は、展覧会・会合・交流会・演奏会などに貸し切りでお使いいただくことができます。詳細につきましては、ご相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。
<問い合わせ&申し込み> カフェ<ひなたぼっこ>047-426-8825

★ブラックベリーのジャムができあがりました!★



佐倉ミックスベリーファームのブラックベリーを使ったジャムができました。無農薬で育てたベリーと砂糖だけで作ったジャムです。カフェのポランティアの青山さんから、(株)両角(モロズミ)ジャム製造所を紹介していただき、何度も試作品を作っていました。ラベルは江美子に書いてもらい、印刷をして、皆でジャムにラベルを貼り、完成です!(1ピン780円です。)

☆今年もたくさんの人たちにお世話になり、また新しい繋がりもできました。一年一年の積み重ねが大事だとつくづく思います。皆様、よいお年を!さあビールで乾杯!(Y)